

グループに分かれて話し合う生徒  
|| 浜松市北区の浜松湖北高



## 中小企業取材し魅力発信 浜松湖北高、エネジンと授業

浜松市北区の浜松湖北高商業科3年生25人が市内の中小企業の魅力を発掘し、ブログや紙媒体で発信する授業が11日、同校で始まった。総合エネルギー会社「エネジン」（中区）と協力。生徒は製造や不動産、小売などの企業を取材し、記事を作成する。

初回授業では、同社営業企画部の佐藤真菜さん(24)が、取り組みの内容や流れを紹介。働く人の生の声を聞いて進路の参考にする▽ブログの閲覧数を増やすために試行錯誤し、企業のPR戦略を模擬体験するーなどの狙いを説明した。

今後は5グループに分かれて市内の約20社を訪問し、企業人へのインタビューなどに臨む。深田奈々佳さん(18)は「お菓子の製造工場を取材してみたい。皆で地元企業魅力を伝えていく」と話した。

授業は、生徒のスキルアップや若者のUターン推進などを目的に2016年度から実施している。